

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	0408	みちさき案内推進事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 27 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

《事業目的》

花巻市を訪れる方々が、観光施設及び各施設までスムーズに移動できるよう標識等による案内を充実させることを目的とする。

《事業開始の背景》

既設の案内標識等の不足及び案内充実についての要望。

《事業概要》

市外からの来訪者がわかりやすく、かつ市民が案内しやすい環境整備を目的とした「みちさき案内計画」を推進する。
 なお、平成28年度に開催が予定されている「岩手国体」を目指し、主要競技会場及び宿泊拠点となる温泉郷の案内について重点的に取り組みを進めるものとし、平成25年度においては、整備要望の多い総合体育館及び花巻球場を中心として案内サインの整備を行う。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① サイン設置整備進捗率	%	目標	-	23.4	
		実績	-	23.4	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	商工観光部	観光課	佐藤 恒	287

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	8,260				
財源内訳	国庫支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,260			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

案内サイン整備 8,260千円
 設置業務委託料 8,260千円
 ・設置数：30基 ・案内板枚数：75枚

■案内標識整備年次計画

区分	H25	H26	H27	計
エリアゾーン	総合体育館 花巻球場 外	花巻温泉郷 石鳥谷 宮沢賢治関連 外	歩行者系 大迫 東和 外	
設置箇所	30	36	62	128
案内板枚数	75	90	127	292
事業費	8,260	11,000	15,000	34,260

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	03	0408	みちさき案内推進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	まちぐるみ観光サービスの産業化
	2		2-1	
目的	花巻市を訪れる方々が、観光施設及び各施設までスムーズに移動できるよう標識等による案内を充実させることを目的とする。			
対象	観光客及び市内施設利用者			
意図	市内観光地及び各施設へ向かう際の利便性を確保する。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること
 市外からの来訪者がわかりやすく、かつ市民が案内しやすい環境整備を目的とした「みちさき案内計画」を推進する。
 なお、平成28年度に開催が予定されている「岩手国体」を目指し、主要競技会場及び宿泊拠点となる温泉郷の案内について重点的に取り組みを進めるものとし、平成25年度においては、整備要望の多い総合体育館及び花巻球場を中心として案内サインの整備を行う。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① サイン設置	基	計画	-	30	
		実績	-	30	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① サイン設置整備進捗率	%	目標	-	23.4	
		実績	-	23.4	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析 達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い
 計画通りに事業を実施した。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

市政懇談会等においても案内の整備要望が出されている。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市の施設までの案内を行うものであり、市において整備する必要がある。また、観光資源までの移動について利便性の向上を図ることは、観光立市の実現を図るうえで、公共性が高いものである。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	案内標識を充実することにより、スムーズな移動が可能となり、心理的・時間的余裕が生まれることで、市内の回遊性の向上が期待できる。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	新たに案内標識等を設置するものであり、事業費及び人件費の削減の余地はない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	市として、来訪者が費用を負担することなく、各施設等へスムーズに移動する環境を整備すべきであることから、公平性の面で適正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

カーナビゲーションシステムが普及している現在においても、標識等による行先案内の充実を求める声は多い。
 快適な移動環境整備のため、案内サインの充実が更に求められていることから、引き続き計画的な整備を行う必要がある。